

教 科	科 目 名	単 位 数	学 年	学科またはコース	履 修
農 業	食品流通	2	2	生物生産科	必 修

科目のねらい	農産物や農産物を原料とする食品の流通に必要な知識と技術を習得させ、食品の特性と流通構造を理解させるとともに、食品の流通と管理の合理化を図る能力と態度を育てる。				
使用教材など	食品流通（実教出版）				

期	月	時数	学 習 内 容	学 習 の ポ イ ン ト
一 学 期	4	25	第1章 現代生活と食品流通 ①流通の始まりと発展 ②流通の働き③食品流通の役割	1) 食品・流通への興味関心を高める。 2) 食品流通における安定性、安全性、効率性を理解する。 3) 日本の食料消費の特徴を知る。
	5		第2章 経済活動と食料 ①経済発展と食料消費	
	6		②世界の食糧事情	
	7		③日本の食生活と食料需要 ④私たちがとりまくフードシステム	
二 学 期	7	28	第3章 食品流通のしくみと働き ①食品流通の特徴 ②食品流通のしくみ③	1) 循環型社会という概念を知る。 2) 食品ごとの流通経路の在り方を理解する。 3) 価格決定のしくみを理解する。 4) 各種農産物出荷組織の実際を理解する。
	8		価格形成と流通経費	
	9		第4章 おもな食品の流通 ①米の流通 ②麦の流通 ③青果物の流通	
	10		④畜産物の流通 ⑤加工食品の流通	
三 学 期	12	14	第5章 食品品質と規格 ①食品の品質と安全性 ②品質と品質保証	1) 食品の質と安全性を保つ法的システムについて理解する。 2) 食品の包装材と環境の関係を学ぶ。 3) 食料生産と食料輸入の動向を理解する。
	1		③規格、表示と検査 ④食品流通と包装	
	2		⑤食品の変質と品質保持	
	3		第6章 食品の物流 ①物流の仕組みと働き ②食品の輸送③食品の保管 ④情報処理と物流情報システム ⑤食品流通と環境システム	

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	・興味を持って授業に取り組むことができる。	・食品流通の視点から物事を考えることができる。	・自分の意見をまとめ、発表できる。	・習得した知識を応用して質問に答えることができる。
主 たる 評 価 方 法	・観察 ・ワークシート	・観察 ・質疑応答	・観察	・観察 ・レポート ・テスト
上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評価にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

評価項目・学習にあたって・評価点		
① 定期テスト	1年に4回行います。普段の授業に集中して取り組んで下さい。 授業で勉強したことを自分の生活と結びつけて考えることできる。	70 点
② 課題提出	出された課題に真剣に取り組み期日までに提出しましょう。	20 点
③ 出席・態度	欠席少なく出席し、主体的に授業に参加しましょう。	10 点